

株式会社 大正自動車

地域の足である自動車の販売、整備を通じて地域交通を確保。災害時には、市との協定に基づき福祉車両等を提供。

●白石市のハザードマップの浸水範囲に位置する自動車販売（新車、中古車、福祉車両）・整備・钣金・自動車保険を扱う企業。日本福祉車輛協会に加盟し、協会認定の工場、福祉車両取扱士並びにインストラクターの資格を取得し、福祉車両の安全運転講習会を開催する等の活動も行っている。災害時には従業員及び顧客の安全を確保しながら事業継続を図る。予警報等に基づき事前の営業停止を判断、市との福祉車両貸し出しの協定の準備、車両等を避難する計画としている。被害状況に応じて、被災した車両の引き取り、メンテナンス等を行い、地域の復旧に貢献。



- 立地
 - ・宮城県白石市
- 業種・規模・創業
 - ・自動車販売（新車、中古車、福祉車両）
 - ・整備・钣金
 - ・自動車保険
 - ・昭和56年1月創業



No.1 水害対応版BCP策定の目的

洪水等の風水害により、当社及びその関係機関、周辺地域が被災した場合を想定し、従業員及び顧客の安全を確保しながら事業を継続、または、早期復旧することを目的とする。このBCPを「水害対応版BCP」と称する。

No.2 水害対応版BCPの基本方針

- 1.BCP策定・運用の意義・目的
- ①顧客にとって（信用）
 - 安定供給の担保による得意先の信用維持。
 - ②従業員にとって（雇用）
 - 雇用を確保することにより従業員、家族の生活を守る。
 - ③地域にとって（活力）
 - 災害時の車両貸し出し、メンテナンスを通じて、地域の災害復旧に寄与する。

No.4 水害時の想定（洪水の浸水範囲・浸水深）、避難所、避難ルート

■浸水深1-2m 白石川（計画規模）



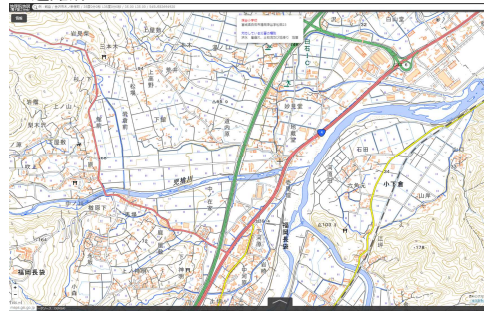
■車両等の移動候補地



No.3 重要業務（事業）

- ・被災したお客様車両の引き取り（レッカー移動）
- ・車両被災したお客様への代車または車両納品（車両保険に加入されて代車特約を付けているお客様への代車）
- ・引き取った被災車両のメンテナンス
- ・被災した市内公共機関、被災した同業者への支援（車両貸し出し等）
- ・上記の重要業務を行うため、必要となる自社車両の安全確保

■避難所



（想定される被害）

- ・浸水による建物・設備の被害。浸水深1-2mで1階に被害が及ぶ。
- ・道路、電力等の破壊。長期的寸断。
- ・事業の長期的停止

（そのため）

- ・人命被害回避のため早期帰宅（及び緊急避難）を検討する。
- ・重要資機材（車両、PC等）の移動を検討する。
- ・事業継続を検討する。

No.5 初動対応開始のタイミング

